

指揮

松岡 究

Hakaru Matsuoka

指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデツリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1991年文化庁在外派遣研修員としてハンガリーに留学。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・パヌラより招待されタリン国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。2004年～2007年にかけてローム・ミュージック・ファンデーションの音楽特別研究員としてベルリンにて研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者としてグノー「ロメオとジュリエット」等10以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「オケから耽美的な音色を引き出し抜群」等新聞各紙、音楽雑誌等で絶賛された。この他にも日本ロッシーニ協会の「ランスへの旅」(日本人初演)やブリテン「ねじの回転」(新国立劇場)等でも高い評価を得た。2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督。2009年東京ユニバーサルフィル専任指揮者、2012年から常任指揮者に就任。また2023年4月から大阪府茨木市を本拠地とするアマービレフィルハーモニー管弦楽団(20015年創立)の音楽監督兼常任指揮者に就任。



独唱

石橋 栄実 (ソプラノ)

Emi Ishibashi



大阪音楽大学専攻科修了。大阪舞台芸術奨励賞、咲くやこの花賞、他受賞。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」に招かれて以来、新国立劇場をはじめとする数多くのオペラに出演し続けている。宗教曲・交響曲のソリストとして全国のオーケストラと共演。NHKニューイヤーオペラコンサート出演。大阪音楽大学教授。

八木 寿子 (メゾソプラノ)

Hisako Yagi



京都市立芸術大学大学院を首席修了。第81回日本音楽コンクール入選、第9回東京音楽コンクール第1位等賞多数。「ばらの騎士」オクタヴィアン(びわ湖ホール)等で多くのオペラに、またパッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」等多くのオーケストラ作品に出演、音楽雑誌等で高い評価を得ている。京都女子大学非常勤講師。

松原 友 (テノール)

Tomo Matsubara



東京藝術大学大学院修了後、ミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科で学ぶ。端正な歌唱は高い評価を得、小澤征爾、ウルフ・シルマー他国際的指揮者とも共演。第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京混声合唱団特別団員。二期会会員。

久保 和範 (バス・バリトン)

Kazunori Kubo



東京藝術大学大学院及び文化庁オペラ研修所修了後、ニューヨークで研鑽を積む。新国立劇場、二期会等数々の公演で主要な役を演じ、卓越した歌唱力と表現力で高い評価を得る。コンサートでもN響をはじめ主要オーケストラと「天地創造」等数々共演。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。京都市立芸術大学教授。二期会会員。

管弦楽

関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

2020年に楽団創立50周年を迎えた。指揮者陣は2025年4月より、総監督・首席指揮者:藤岡幸夫、首席客演指揮者:鈴木優人、アーティスティック・パートナー:リオ・クオクマン、名誉指揮者:オーギュスタン・デュメイ。BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時30分)に、藤岡幸夫とともに出演中。

合唱

大阪シンフォニッククワイア

Osaka Symphonic Choir (OSC)

1979年にベートーヴェン第九を演奏する枚方フロイデ合唱団として発足。2024年には創立45周年を迎えた。関西の著名オーケストラとの共演を柱に、日本初演の曲や大曲にも取り組んできた。石原祐介音楽監督兼団長のもと、8人の指導陣に支えられ、枚方市、大阪市を中心に研鑽を続けている。